

ver.3

エコモン

業務用商品カタログ

2024年12月 改訂

Ecology & Pheromone

目次

商品ラインナップ	P.3
モニタリング用フェロモントラップについて.....	P.4

屋内害虫用商品

ニューセリコ.....	P.5
ガチョン	P.6
セリコ W+	P.7
ハイレシス	P.8
トリオス.....	P.9

屋外害虫用商品

フィールドキャッチ.....	P.10
ニューウインズパック	P.11

サービス

ムシレコ.....	P.12~13
「ムシレコ」ご利用開始までの登録に関するQ&A..	P.14

エコモン Q&A

エコモン屋内用商品全般、有機 JAS 規格別表等 適合資材に関するよくある質問	P.15
--	------

モニタリング

フェロモントラップを使ったモニタリング.....	P.16
モニタリングデータの活用法	P.17

設置方法（基本編）

設置時のポイント	P.18
フェロモントラップの設置方法.....	P.19

設置方法（応用編）

製パン工場の現場設置例	P.20
捕虫が確認された際の対応.....	P.21
発生源探索のポイント	P.22~23
養生モニタリング	P.24
短期設置による確認の例	P.25

商品一覧.....	P.26
-----------	------

富士フレーバープロフィール

会社概要.....	P.27
-----------	------

商品ラインナップ

効率的な害虫管理に貢献するため、富士フレイバーでは幅広い産業で問題となる貯穀害虫(食品害虫)を対象としたモニタリング用フェロモントラップを開発してきました。これら全ての商品は、ターゲットとなる昆虫の習性を徹底研究して作られております。



対象害虫

■貯穀(食品)害虫用

穀物やその加工品など貯蔵食品の害虫に対応した商品

ニューセリコ

対象害虫：タバコシバンムシ

ガチョン

対象害虫：ノシメマダラメイガ、チャマダラメイガ、ガイマイツヅリガ、スジマダラメイガ、スジコナマダラメイガ

ハイレシス

対象害虫：ジンサンシバンムシ、ヒメマルカツオブシムシ

トリオス

対象害虫：コクヌストモドキ、ヒラタコクヌストモドキ、コナナガシクイ、ノコギリヒラタムシ、カクムネチビヒラタムシ(カクムネヒラタムシ)、ヒメアカカツオブシムシ、コクゾウ

■貯穀(食品)害虫複数種対応用

穀物やその加工品など貯蔵食品の害虫に対応した商品

セリコW+

対象害虫：タバコシバンムシ & ノシメマダラメイガ & チャマダラメイガ

■農業害虫用

水田や畑、果樹園などで農作物、あるいは園芸作物の害虫に対応した商品

フィールドキャッチ

対象害虫：ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、クモヘリカメムシ、フジコナカイガラムシ、クワコナカイガラムシ、ミナミアオカメムシ

ニューウインズバック

対象害虫：マメコガネ、ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、ヒラタアオコガネ、セマダラコガネ、アオドウガネ

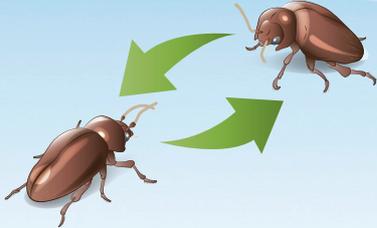


ECOMONE

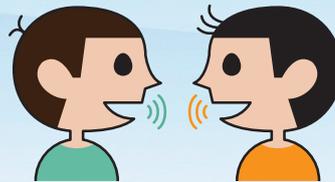
モニタリング用フェロモントラップについて

フェロモンとは？

フェロモンとは、同種の昆虫が互いにやりとりする際に使用される物質です。人間はコミュニケーションの際に言葉を使用しますが、昆虫では体からフェロモンを放出することによって、仲間とコミュニケーションをとっています。



フェロモンによる昆虫のコミュニケーション



言葉による人間のコミュニケーション

昆虫の言葉であるフェロモンは、様々な種類が存在しています。中でも、異性を呼び寄せる（誘引する）ものを性フェロモン、仲間を呼び寄せる（誘引する）ものを集合フェロモンと呼んでいます。富士フレーバーのフェロモントラップでは、これらの2つのフェロモンが活用されています。

性フェロモン



子孫を残すために、異性間で使用される言葉

成虫寿命の短い昆虫は、短い一生の間に異性を探して子孫を残さなければなりません。そのため、性フェロモンは強い誘引力をもちます。ほとんどの昆虫では雄を誘引します。

集合フェロモン

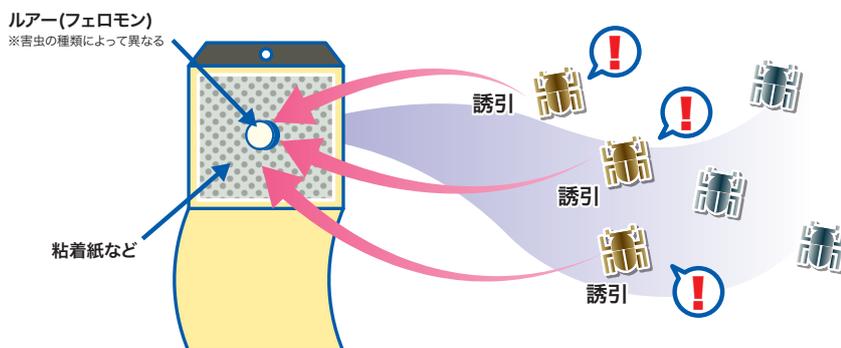


グループを形成するため、雌雄成虫や幼虫の間で使用される言葉

集合フェロモンは、性フェロモンとは異なり雌雄を誘引します。しかし、一般的に性フェロモンよりも誘引力が弱い事が多いとされています。

フェロモントラップとは？

フェロモントラップは、害虫のフェロモンを利用したモニタリング資材です。一般的なフェロモントラップは、害虫を呼び集めるためのルアー（フェロモン）と害虫を捕獲するトラップ部分（粘着紙など）で構成されています。



フェロモントラップは昆虫の言葉であるフェロモンを利用しているため、対象昆虫のみを強力に誘引することができます。また、フェロモンは同じ種類の昆虫のみに作用するため、捕虫された昆虫を扱う際に専門性が必要な同定作業（種類の鑑定）が不要になります。

Product
No. 1

NEW SERRICO

ニューセリコ

タバコシバンムシは、食品・医薬・たばこの工場、倉庫などに生息し、穀物やその加工品といった食品に害を与える飛翔性昆虫です。ニューセリコは、同昆虫を対象とした世界初のモニタリング用フェロモントラップとして世界的に高い評価を受けています。

タバコシバンムシを対象としたモニタリング用フェロモントラップ

- ・タバコシバンムシの習性を徹底研究して作られた専用トラップ
- ・早期発見、発生源の特定、発生源の調査などに効果を発揮
- ・フェロモン揮散量をコントロールすることで安定した性能を実現
- ・性フェロモンと食物誘引物質を併用することで雄成虫のみならず雌成虫も誘引
- ・組立簡単なトラップであり、使用後の処分も容易
- ・付帯設備不要、設置場所を選ばないため、工場・倉庫など幅広い場面で使用可能
- ・有機JAS対応商品（有機農産物のJAS規格別表等への適合性評価済み資材）

粉塵の付きにくいトラップ

粉塵の多い場所でも、側面折り曲げ部分を折って使用する事で、粘着紙に粉塵が付きにくくなります。

組み立て方法



- ① 本体を開き、A部を折り目に沿って曲げ、はく離紙をはがします。
※粉塵の多い場所で使用する場合は、側面折り曲げ部分を折ってご使用ください。
- ② シートからルアーを1個取り出し、粘着面に貼り付け、A部をB部に差し込んでご使用ください。
※ルアーの一部色むらが生じることがありますが、品質には問題ありません。

設置方法

- ① 設置場所：床から1.5mの高さの平らな壁面などに設置してください。
 - ② 設置間隔：5~10m間隔で設置することをお勧めします。
- ※製造設備付近への設置は成虫を誘引する可能性がありますので避けてください。
※建物の出入口近辺の設置は、外部からの侵入を招きますので、出入口から出来るだけ離して設置してください。

交換周期

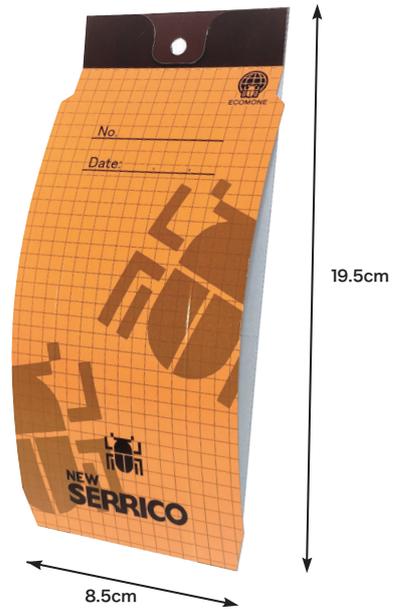
- トラップは1か月ごとに交換してください。
※本商品の有効期限は未使用の場合、製造後1年です。トラップを組み立てた後の有効期限は、1か月となります。
※有効期限内にご使用ください。
※直射日光を避け、暗所室温条件下で保管してください。

商品構成・荷姿

- 本体 10個、ルアー 10個(1シート)/箱
 ・100個/段ボール(10箱/段ボール)
 ・200個/段ボール(20箱/段ボール)



※ルアー：性フェロモンと食物誘引物質を含んだルアー



加害対象

米・小麦・トウモロコシなどの穀類の粉、香辛料、菓子類、漢方薬、鯉節類、たばこ、乾燥ペットフード、飼料、干し草、藁など



対象害虫



設置イメージ

Product
No.2

ガチョン

メイガ類は、食品・精米・たばこの工場、倉庫などに生息し、穀物やその加工品といった食品に害を与える飛翔性昆虫です。これらの昆虫は、商品への異物混入の原因として常に上位にランクされており、ガチョンは食品業界で広く使用されています。

メイガ類を対象としたモニタリング用フェロモントラップ

- 食品害虫として知られる 5 種のメイガ類が対象 (対象ごとにルアーが異なります)
- メイガ類の習性を徹底研究して作られたトラップ
- メイガ類の早期発見、発生源の特定、発生消長の調査などに効果を発揮
- フェロモン揮散量をコントロールすることで安定した性能を実現
- 付帯設備不要、設置場所を選ばないため、工場・倉庫など幅広い場面で使用可能
- 有機 JAS 対応商品 (有機農産物の JAS 規格別表等への適合性評価済み資材)

粉塵に強いトラップ

粉塵や鱗粉に強い粘着紙を使用

組み立て方法



① 本体を開き、A 部を折り目に沿って曲げ、はく離紙をはがします。



② シートからルアーを 1 個取り出し、粘着面に貼り付け、A 部を B 部に差し込んでご使用ください。

※ルアーに一部色むらが生じることがありますが、品質には問題ありません。

設置方法

- ① 設置場所：床から 1.5m の高さの平らな壁面などに設置してください。
- ② 設置間隔：5~10m 間隔で設置することをお勧めします。

※製造設備付近への設置は成虫を誘引する可能性がありますので避けてください。

※建物の出入口近辺の設置は、外部からの侵入を招きますので、出入口から出来るだけ離して設置してください。

交換周期

トラップは 1 か月ごとに交換してください。

※本商品の有効期限は未使用の場合、製造後 1 年です。トラップを組み立てた後の有効期限は、1 か月となります。

※有効期限内にご使用ください。

※直射日光を避け、暗所室温条件下で保管してください。

商品構成・荷姿

本体 10 個、ルアー 10 個 (1 シート) / 箱
100 個 / 段ボール (10 箱 / 段ボール)



加害対象

米・小麦・トウモロコシなどの穀類およびそれらの加工品、大豆などの豆類、ゴマなどの油用種子、ナッツ類、乾燥果実、ココアやチョコレート、飼料など



対象害虫



Product
No. **3**

セリコ ダブルプラス

タバコシバンムシとメイガ類は、食品・精米・医薬・たばこの工場、倉庫などに生息し、穀物やその加工品といった食品に害を与える飛翔性昆虫です。セリコ W+は、ニューセリコとガチョンを組み合わせた富士フレーバー初のマルチ対応商品です。

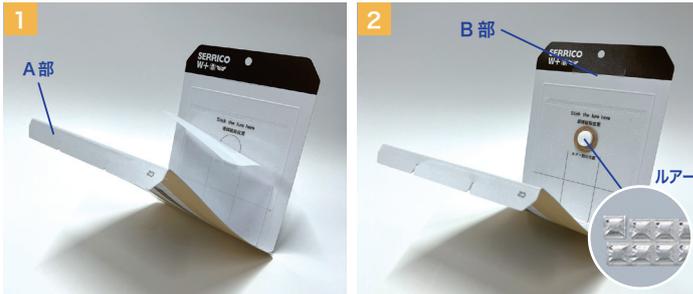
2大貯穀害虫を対象としたチェッカー用フェロモントラップ

- ・タバコシバンムシ及びメイガ類(ノシメダガラメイガ、チャマダラメイガ)が対象
- ・害虫の生息状況の初期調査及び臨時調査などに効果を発揮(チェッカー用)

セリコ × ガチョンのコラボレーションにより、作業性向上

- ・1つのトラップで複数種の害虫を捕獲可能とし、組立・設置の作業を2分の1に軽減
- ・カレンダー付きで捕獲数を直接記録し、わかりやすく管理
- ・粉塵や鱗粉に強い粘着紙を使用
- ・フェロモン揮散量をコントロールすることで安定した性能を実現
- ・組立簡単なトラップであり、使用後の処分も容易
- ・付帯設備不要、設置場所を選ばないため、工場・倉庫・飲食店など幅広い場面で使用可能

組み立て方法



① 本体を開き、A部を折り目に沿って曲げ、はく離紙をはがします。

② シートからルアーを1個取り出し、粘着面に貼り付け、A部をB部に差し込んでご使用ください。

※ルアーに一部色むらが生じることがありますが、品質には問題ありません。

設置方法

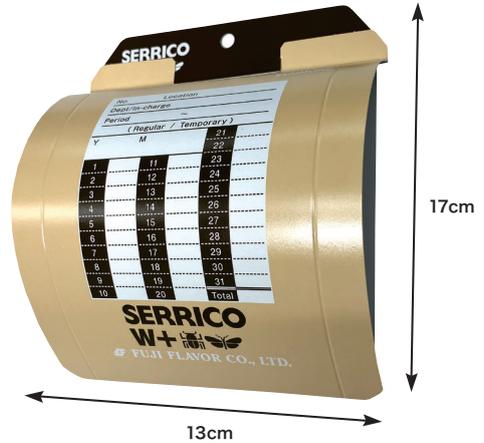
- ① 設置場所：床から1.5mの高さの平らな壁面などに設置してください。
 - ② 設置間隔：5～10m間隔で設置することをお勧めします。
- ※製造設備付近への設置は成虫を誘引する可能性がありますので避けてください。
※建物の出入口近辺の設置は、外部からの侵入を招きますので、出入口から出来るだけ離して設置してください。

交換周期

- トラップは1か月ごとに交換してください。
- ※本商品の有効期限は未使用の場合、製造後1年です。トラップを組み立てた後の有効期限は、1か月となります。
- ※有効期限内にご使用ください。
- ※直射日光を避け、暗所室温条件下で保管してください。

商品構成・荷姿

本体 10個、ルアー 10個(1シート) / 箱
100個 / 段ボール(10箱 / 段ボール)

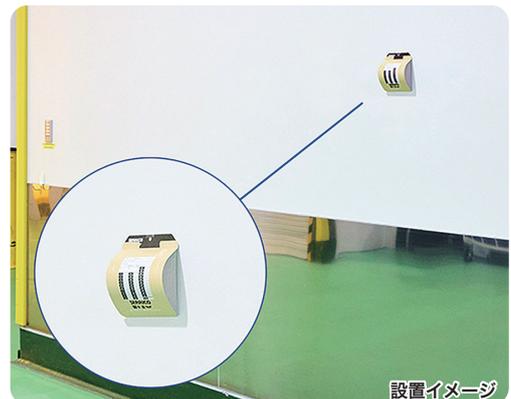


加害対象

米・小麦・トウモロコシなどの穀類およびそれらの加工品、大豆などの豆類、ゴマなどの油用種子、ナッツ類、乾燥果実、ココアやチョコレート、香辛料、菓子類、漢方薬、経節類、たばこ、飼料、干し草、藁など



対象害虫



設置イメージ

Product
No. 4

ハイレシス HIRESIS

ジンサンシバムシやヒメマルカツオブシムシは、食品・精米の工場、博物館、美術館、薬局、倉庫などに生息し、穀物やその加工品といった食品に害を与える飛翔性昆虫です。
ハイレシスは、警戒心の強い昆虫の習性に合わせて設計されたトラップで、効率的にモニタリングすることができます。特にジンサンシバムシ専用のトラップは、世界で唯一富士フレイバーが販売しています。

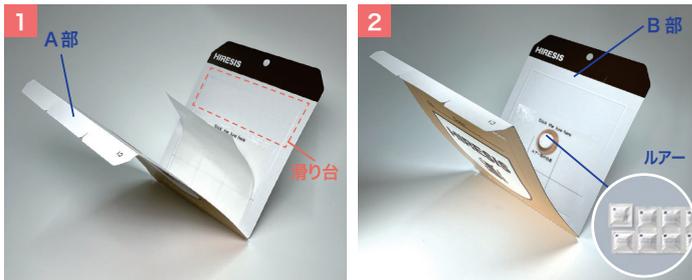
2種の害虫を対象としたモニタリング用フェロモントラップ

- ジンサンシバムシまたはヒメマルカツオブシムシが対象(対象毎にルアーが異なります)
- 対象害虫の習性を徹底研究して作られたトラップ
- 対象害虫の早期発見、発生源の特定、発消長の調査などに効果を発揮
- フェロモン揮散量をコントロールすることで安定した性能を実現
- 組立簡単なトラップであり、使用後の処分も容易
- 付帯設備不要、設置場所を選ばないため、工場・倉庫など幅広い場面で使用可能
- 有機 JAS 対応商品(有機農産物の JAS 規格別表等への適合性評価済み資材) ※ジンサンシバムシ用を除く

滑り台で捕獲効率 UP

滑り台を付けること警戒心が強い害虫も効率的に捕獲

組み立て方法



- ① 本体を開き、A部を折り目に沿って曲げ、はく離紙をはがします。
- ② シートからルアーを1個取り出し、粘着面に貼り付け、A部をB部に差し込んでご使用ください。

※ルアーに一部色むらが生じることがありますが、品質には問題ありません。

設置方法

- ① 設置場所：床から1.5mの高さの平らな壁面などに設置してください。
 - ② 設置間隔：5～10m間隔で設置する事をお勧めします。
- ※製造設備付近への設置は成虫を誘引する可能性がありますので避けてください。
※建物の出入り口近辺の設置は、外部から侵入を招きますので、出入り口から出来るだけ離して設置してください。
※ヒメマルカツオブシムシ用は、対象害虫の生態上、交尾後に捕虫が少なくなる傾向がございますのでご注意ください。

交換周期

トラップは1か月ごとに交換してください。
※本商品の有効期限は未使用の場合、製造後1年です。トラップを組み立てた後の有効期限は、1か月となります。
※有効期限内にご使用ください。
※直射日光を避け、暗所室温条件下で保管してください。

商品構成・荷姿

本体 10個、ルアー 10個(1シート) / 箱
100個 / 段ボール(10箱 / 段ボール)



加害対象

穀類、菓子類、香辛料、乾燥果物、椎茸、蕎麦などの麺類、漢方薬、衣類などの毛織物、動植物標本など



対象害虫



設置イメージ

Product
No. **5**

トリオス TORIOS

コクヌストモドキを始めとするトリオスの対象害虫は、食品・製粉・精麦・精米の工場、倉庫などに生息し、穀物やその加工品といった食品に害を与える徘徊性昆虫です。トリオスは、粘着を嫌う昆虫の習性に合わせて設計されたトラップで、効率的にモニタリングすることができます。

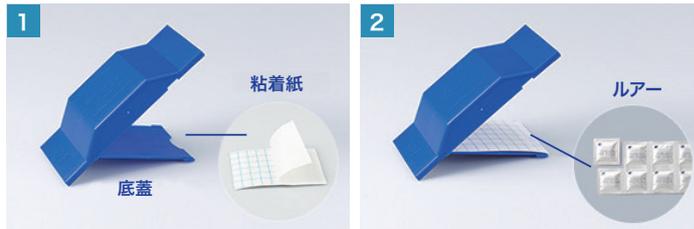
徘徊性食品害虫を対象としたモニタリング用フェロモントラップ

- 交換はルアーと粘着紙のみで、トラップ本体は繰り返し使用可能
- ルアーの種類を変えることで7種類の害虫に対応
- 対象害虫の習性を徹底研究して作られたトラップ
- 対象害虫の早期発見、発生源の特定、発消長の調査などに効果を発揮
- フェロモン揮散量をコントロールすることで安定した性能を実現
- 扱いが簡単なトラップであり、耐久性にも優れている
- 粘着紙を用いた捕獲方式のため、捕獲数のカウントやメンテナンスが容易
- 有機 JAS 対応商品 (有機農産物の JAS 規格別表等への適合性評価済み資材) ※ヒラタコクヌストモドキ用を除く

落とし穴方式で捕虫効率 UP

落とし穴を付けることで粘着を嫌う害虫も効率的に捕獲

組み立て方法



- ① 本体の底蓋を開け、底蓋のつめにはく離紙をはがした粘着紙を挿入してください。
- ② シートまたは袋からルアーを取り出し、粘着紙中央に貼り付け、底蓋を閉めてご使用ください。
※ルアーに一部色むらが生じることがありますが、品質には問題ありません。

設置方法

- ① 設置場所：平らな床面に設置してください。
- ② 設置間隔：5～10m 間隔で設置する事をお勧めします。
※製造設備付近への設置は成虫を誘引する可能性がありますので避けてください。
※建物の出入り口近辺の設置は、外部から侵入を招きますので、出入り口から出来るだけ離して設置してください。

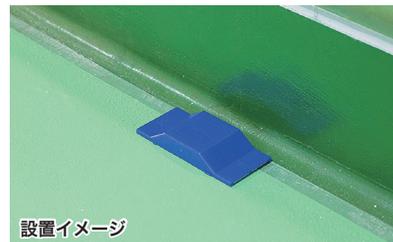
交換周期

トラップは1か月ごと(マルチは2週間ごと)に交換してください。本体は繰り返し使用できます。
※本商品の有効期限は未使用の場合、製造後1年(マルチは6か月)です。
トラップを組み立てた後の有効期限は、1か月(マルチは2週間)となります。
※有効期限内にご使用ください。※直射日光を避け、暗所室温条件下で保管してください。

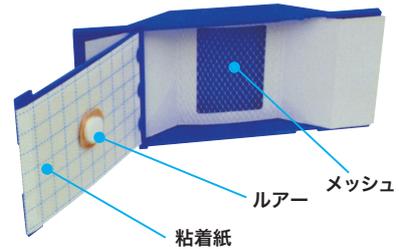
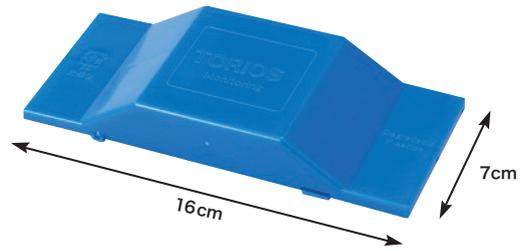
商品構成・荷姿

- 本体セット
本体 50 個 (10 個 / 箱 × 5 箱)
ルアー 50 個 (5 シートまたは 10 袋)、粘着紙 50 枚 / 箱
- ルアーセット
ルアー 50 個 (5 シートまたは 10 袋)、粘着紙 50 枚 / 箱
- スロープ台紙 50 枚 / 箱

- 本体セット 10
本体 10 個 (10 個 / 箱)
ルアー 10 個 (1 シートまたは 2 袋)、粘着紙 10 枚 / 箱
- ルアーセット 10
ルアー 10 個 (1 シートまたは 2 袋)、粘着紙 10 枚 / 箱



※旧ノコギリヒラタムシ用のみ2種類のルアーから成っています。
※トリオス コクヌストモドキ類は、ルアーの形状と入れ目が異なります。



加害対象

米・小麦・トウモロコシなどの穀類、ナッツ類、米ぬか、乾燥野菜・果実、粉ミルク、イースト・麺、飼料など



対象害虫

コクヌストモドキ
ヒラタコクヌストモドキ、ノコギリヒラタムシ、コナナガシクイ、カクムネチビヒラタムシ(カクムネヒラタムシ)、ヒメアカカツオブシムシ、コクゾウ

Product No. **6**

FIELDCATCH フィールドキャッチ

トラップタイプ

カメムシ類、カイガラムシ類は水田、畑、果樹園などの野外に広く生息し、農産物に直接的な被害を与えます。フィールドキャッチは、害虫毎に設計されたルアーとトラップで効率的にモニタリングします。

加害対象

大豆、稲、豆類、柑橘類および関連する植物、ナシ、リンゴ、柿など

リユース型発生予察用資材

- ・対象害虫の習性を徹底研究して作られたトラップ
- ・害虫の生態に合わせた2つの形状
- ・プレートの角度を変えることで、成分の拡散性をコントロールでき、現場環境にあわせて応用可能
- ・本体の繰り返し使用を実現

野外環境を耐え抜く粘着紙

- ・安定的なモニタリングを実現するための高い耐水性
- ・光による劣化にも強く、1か月使用可能

設置方法

- ①設置場所：風通しのよい場所を選び、木に吊るしたり、棒を立てて設置してください。
- ②設置間隔：対象害虫により異なりますので、以下の商品仕様をご参照ください。

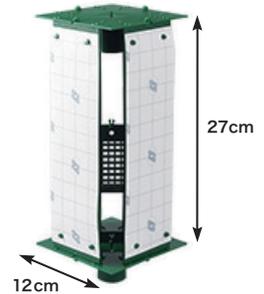
交換周期

以下の商品仕様をご参照ください。

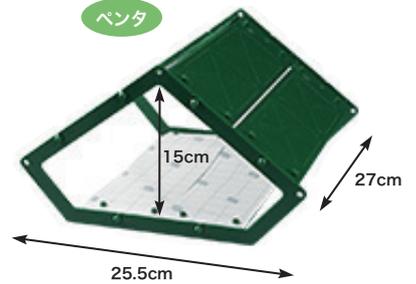


対象害虫

ボックス



ペンタ



ルアーの種類

種類	商品仕様						推奨 トラップ	トラップ 設置間隔
	入り数	標準使用数 (1トラップあたり)	交換周期	有効期限	ルアー	ルアー形状		
ホソヘリカメムシ	24個	6個 (状況により2~8個)	開封後1か月	製造後 1年	集ルアー		ボックス	10m
イチモンジカメムシ ^{※1}	24個	6個 (状況により2~8個)	開封後1か月	製造後 1年	集ルアー		ボックス	10m~15m
クモヘリカメムシ	10個	2個	開封後2週間	製造後 1年	集ルアー		ボックス	20m~30m
フジコナカイガラムシ ^{※2}	6個	1個	開封後1か月 ^{※3}	製造後 1年	性ルアー		ペンタ	10m
クワコナカイガラムシ	6個	1個	開封後1か月 ^{※3}	製造後 1年	性ルアー		ペンタ	10m
ミナミアオカメムシ	10個	5個	開封後1か月 ^{※4}	製造後 1年	集ルアー		ボックス	10m~20m

※1 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構/富士フーダー株式の特許使用。

※2 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構/福岡県/鳥根県の特許使用許可済。

※3 開封後は、食品と区別し、密閉して冷蔵庫等(5℃前後)で保管してください。

※4 高温環境下での使用により、交換周期が1か月より短くなる場合もあります。

※有効期限内にご使用ください。

※直射日光を避け、フジコナカイガラムシ用・クワコナカイガラムシ用ルアーは冷蔵庫(5℃前後)、それ以外は暗所室温条件下で保管してください。

※ルアーに一部色むらが生じることがありますが、品質には問題ありません。

※性ルアー・・・性フェロモンを使用したルアー

集ルアー・・・集合フェロモンを使用したルアー

Product
No. **7**

NEW WINDSPACK ニューウインズバック

コガネムシ類はゴルフ場、果樹園、畑、園芸などの野外に広く生息し、根、葉、花を食い荒らすことで、生産物に直接的もしくは間接的に被害を与えます。ニューウインズバックは、コガネムシの種類に合わせたルアーと習性に合わせて設計されたトラップで効率的にモニタリングします。

加害対象

芝、サクランボ、バラ、花蜜、大豆、いも、パイナップル、ぶどう、イチゴ、ピーナッツ、栗の木、他の果樹、マメ科植物の葉、サトウキビなど

リユース型発生予察用資材

- ・ルアーを取り替えることにより 8 種類のコガネムシに対応
- ・対象害虫の習性を徹底研究して作られたトラップ
- ・本体の繰り返し使用を実現
- ・組立・設置が容易で、しかも取り出し口径も広く捕獲したコガネムシの取り出しが簡単

捕虫性能を向上

捕虫状況に合わせて捕虫容器の容積を 2 段階に調節可能

設置方法

- ①設置場所：風通しのよい場所を選び、木に吊るしたり、棒を立てて設置してください。設置高さはコガネムシにより異なりますので、以下の商品仕様をご参照ください。
- ②設置間隔：誘引力は 50~100m を目安に設置してください。
※複数種類のニューウインズバックを同時に使用する場合、ルアーの設置間隔が近いと干渉作用を示すことがありますので、トラップは少なくとも 20m 以上離して設置してください。

交換周期

以下の商品仕様をご参照ください。

トラップ内が捕獲された虫で満たされる前に虫を廃棄してください。
(大量発生時には一日でいっぱいになることがあります。)
設置後長時間放置すると、捕獲した虫が腐敗し、誘引効果を阻害することがあります。



ルアー



対象害虫

◆ルアーの種類

種類	商品仕様					トラップ設置高さ
	交換周期	有効期限	タブレット	ボトル	ルアー	
マメコガネ	開封後 2~3か月	製造後 1年	○	○	性ルアー/食ルアー	地表より1m前後
ヒメコガネ			○	○	性ルアー/食ルアー	地表より1m前後
マメコガネ・ヒメコガネ ^{※1}			○	○	性ルアー/食ルアー	地表より1m前後
ドウガネブイブイ			○	○	性ルアー/食ルアー	地表より1m前後
ヒラタアオコガネ			○	-	性ルアー	地表
セマダラコガネ			○	-	性ルアー	地表
アオドウガネ ^{※2}			○	-	性ルアー	地表より1m前後

※1 ヒメコガネの発生が多い場所では、ヒメコガネ用をご使用ください。
 ※2 アオドウガネ用は成虫発生初期の予察は可能です。それ以降は、対象害虫の生態上、捕虫数が少なくなりますのでご注意ください。
 ※有効期間内にご使用ください。
 ※直射日光を避け、暗所室温条件下で保管してください。
 ※ルアーに一部色むらが生じることがありますが、品質には問題ありません。

※性ルアー・・・性フェロモンを使用したルアー
 食ルアー・・・食物誘引物質を使用したルアー

ムシ



モニタリングの改

※ムシレコの利用には、ニューセリコとガチョンの使用に

ニューセリコまたは、ガチョンをご利用いただく捕虫面をスマートフォンのカメラで撮影することノシメマダラメイガ、チャマダラメイガです。カウント結果を指定のメールアドレスへ転送し、

ムシレコの特長

1. 捕虫数をAIで解析

ムシレコを使えば、誰でも簡単に捕虫数のカウントが可能！ニューセリコまたはガチョンの捕虫面をスマートフォンのカメラで撮影すると、あとはAIが捕虫数を自動解析！カウント精度90%以上、解析時間はトラップ1枚あたり3～10秒。(通信環境・状況により変動します)

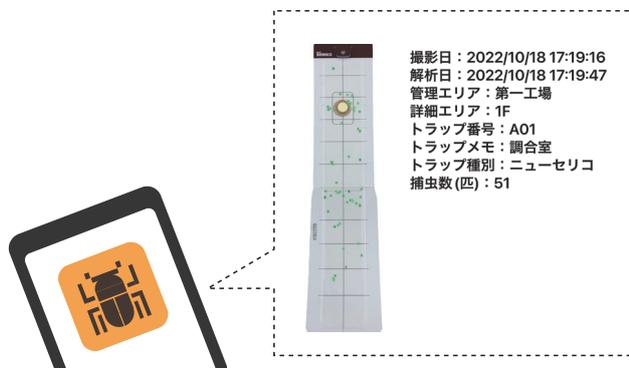
2. 捕虫データの管理機能搭載

事前に登録したトラップ情報（設置場所等）に、捕虫データを紐づけて整理できます。登録したメールアドレスへ捕虫データを一覧にして送信し、報告書作成時の転記ミス防止や、報告書の作成が容易に！

※メールアドレスは5つ登録できるので、管理者等と情報共有が図れます。

3. 保存資料のデジタル化

撮影した写真とデータを1つの画像としてスマートフォンに保存が可能！



4. 簡易撮影機能搭載

設置場所等トラップ情報を登録せず、お手軽に捕虫数をカウントすることも可能！

※簡易撮影の場合、撮影画像・捕虫記録の保存はできません。

撮影日時	解析日時	管理エリア	詳細エリア	トラップ番号	トラップメモ	種別	捕虫数(匹)
2022/10/18 17:19:16	2022/10/18 17:19:47	第一工場	1F	A01	調査室	ニューセリコ	51

↓ ダウンロードはこちらから ↓



App Store



Google Play



利用をご検討される方は、ニューセリコ・ガチョンのご購入先様へご連絡ください。

レコ

善ツールが誕生! //

加え、富士フレイバー(株)との利用契約締結が必要です。

いているお客様向けの新サービス。
とにより、捕虫数を自動でカウントします。対象の害虫はタバコシバンムシ、
タイムリーに情報共有が可能です。

スマートフォン用
モニタリング
サポートアプリ

ムシレコを利用するメリット

1. モニタリング作業の効率化

ムシレコで撮影した捕虫面をAIが解析し、3~10秒程度で捕虫数の結果を得ることが出来ます。トラップに多く捕虫されているケースでは、**カウント作業の時短**が見込めると想定しています。

2. カウント精度の安定化

AIによる解析精度は90%以上を有しているため、**誰が作業しても一定の捕虫数の確認が可能**になると想定しています。



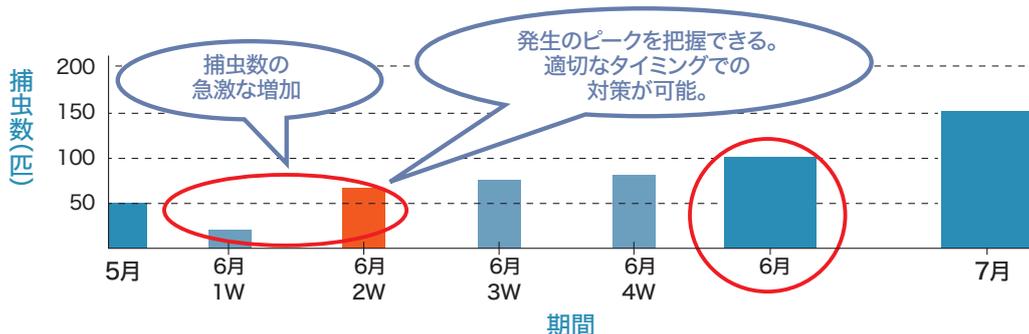
3. 変化点の早期発見、早期対応

ムシレコを利用し、捕虫数の確認頻度を増やすことで、1ヶ月に1回のモニタリングでは気付くことのできなかった、日や週単位での変化を把握することが可能です。
また虫が増加した期間の発生要因(原料の入荷や清掃未実施日、工場の工事や来客など)をタイムリーに分析可能です。



ムシレコのメール機能を利用し、現場担当者様と管理業者様間で捕虫データの情報共有が可能。
※事前に現場担当者様と管理業者様間で詳細に条件を決めておくことをお勧めいたします。

モニタリングの品質を向上させる為に、捕虫数の確認頻度を増やしていただくことが大切です。



自動カウントアプリ 「ムシレコ」ご利用開始までの登録に関する Q&A

Q.1 ムシレコを利用するためにはどうしたらよいですか？

A.1 「ムシレコサービス利用契約申込書」に必要事項をご記入のうえ富士フレイバーへメールまたは FAX でお送付ください。

※申込者署名欄には自署が必要となります。

申込完了後、富士フレイバーより責任者専用 Web サイトへの

- ①アクセス時に必要な情報（ユーザー名・パスワード）
 - ②ログイン時に必要な情報（企業 ID・メールアドレス・パスワード）
- の 2 種類を通知いたします。

※責任者専用 Web サイトへの

- ①アクセス時に必要な情報
 - ②ログイン時に必要な情報
- の 2 種類はそれぞれ異なります。

Q.2 責任者専用 Web サイトにログインするためにはどうしたらよいですか？

A.2 PC のブラウザ (chrome 推奨) に富士フレイバーから通知された URL を入力し責任者専用 Web サイトへアクセスしてください。

アクセス時には申込完了後に富士フレイバーより通知された

- ①アクセス時に必要な情報（ユーザー名・パスワード）を使用してください。

アクセス後、ログイン時には申込完了後に富士フレイバーより通知された

- ②ログイン時に必要な情報（企業 ID・メールアドレス・パスワード）
- を使用してください。

- ※①アクセス時に必要な情報と
②ログイン時に必要な情報の
お間違いにご注意ください。

Q.3 アプリへログインするにはどうすればよいですか？

A.3 責任者専用 Web サイトにて責任者がアプリユーザーの登録を完了するとアプリへのログイン時に必要な情報（企業 ID・メールアドレス・パスワード）がメールで各ユーザーに通知されます。

※なお各ユーザーへ通知メールは

送信元：ムシレコ <report@mushireko.info>

タイトル：ムシレコ初期登録完了のお知らせ

にて配信されます。

通知された企業 ID・メールアドレス・パスワードを入力してアプリにログインしてください。

※各ユーザーのアカウントごとにメールアドレス・パスワードは異なります。

なおアプリ利用には責任者自身もユーザー登録を行う必要があります。

※責任者専用 Web サイトへのログイン時に必要な情報とアプリへのログイン時に必要な情報はそれぞれ異なります。使用する情報のお間違いにご注意ください。

Q.4 アプリユーザーの登録後、アプリへのログイン時に必要な情報が通知されません。

A.4 責任者専用 Web サイトにてアプリユーザーのメールアドレスが正しく登録されているかご確認ください。

また通知メールが迷惑メールフォルダに振り分けられている可能性がございますので一度迷惑メールフォルダをご確認ください。

※ユーザーへ通知メールは

送信元：ムシレコ <report@mushireko.info>

タイトル：ムシレコ初期登録完了のお知らせ

にて配信されます。

Q.5 アプリへのログイン時に使用するパスワードを忘れてしまいました。どうすればよいですか？

A.5 責任者へ連絡し、パスワードを再発行してください。

エコモン屋内用商品全般、有機 JAS 規格別表等適合資材に関するよくある質問

以下の Q&A 集は、屋内用の商品を対象としています。農業用の商品と回答が異なる場合がありますので、ご注意ください。
こちらの Q&A 集で解決しない場合は、お問い合わせください。

エコモン屋内用商品全般に関するよくあるご質問

Q.1 フェロモンについて、教えてください。

A.1 昆虫が仲間（同種）とのコミュニケーションに使用している化学物質です。詳しくは、当社ホームページの「フェロモントラップとは」をご参照ください。

Q.2 フェロモントラップとはどのようなものですか？

A.2 昆虫を誘引する機能と誘引した昆虫を捕獲する機能の両方を備えたトラップのうち、誘引源としてフェロモンを使用しているものをフェロモントラップといえます。一般的には、モニタリング目的の資材と大量誘殺目的の資材に分かれます。

Q.3 富士フレイバーのフェロモントラップはどのような用途に利用できますか？

A.3 富士フレイバーのフェロモントラップは、モニタリング（発生予察）専用です。害虫の発生の早期発見、発生消長の解明、対策時期の決定や対策結果の評価などに不可欠です。反面、害虫の生息数は減少しないため駆除・防除効果は期待できません。したがって、害虫に起因する異物混入リスクの低減、害虫による食害の低減はできません。

Q.4 富士フレイバーのフェロモントラップの特長は何ですか？

A.4.1 誰でも容易に使える

フェロモンの特性を利用しているため、トラップには対象害虫が主として捕獲されます。よって、対象害虫に対応したフェロモントラップを使用することで、同定の必要がなく、誰でも使用が可能です。

2. 早期発見に有効な高感度センサー

フェロモンに対する昆虫の反応は鋭敏で、生息数が少ない場合でも捕獲することができます。そのため、害虫の早期発見に有効です。

3. 広い範囲を効率的にモニター

フェロモンは空気中に飛散される為、有効範囲内において空気に触れることができれば障害物の影響を受けずに対象害虫をモニターできます。

Q.5 フェロモントラップは有機加工食品などの現場で使用できますか？

A.5 現在、全商品のうち一部商品は、一般社団法人有機 JAS 資材評価協議会によって有機 JAS 規格の適合性が評価された資材をまとめた「有機農産物の JAS 規格別表等への適合性評価済みリスト」に掲載されています。掲載されていない商品については、各登録機関の指示に従ってください。今後リスト化された商品については随時ホームページなどにてお知らせいたします。

詳しくは、下記「有機 JAS 規格別表等適合資材に関するよくある質問」をご参照ください。

Q.6 モニタリングを行うことによって、どのようなことが分かりますか？

A.6 モニタリングによって得られるデータは各トラップの捕獲個体数です。このデータを解析することで、害虫管理に役立てることができます。詳しくは、当社ホームページの「害虫管理のポイント」をご参照ください。

Q.7 有効期限を過ぎると、トラップ性能はどうなりますか？

A.7 有効期限までは、安定した性能を発揮するように設計されています。しかし、有効期限を過ぎると商品の性能は劣化しますので、有効期限内に商品を使用してください。

Q.8 トラップを設置して間もないうちに大量の虫が捕獲されました。トラップを交換したほうがよいでしょうか？

A.8 粘着紙の全面に虫が捕獲されている場合は、トラップを交換してください。

Q.9 トラップが水に濡れてしまいました。このまま使用しても問題はありますか？

A.9 トラップの粘着面が濡れている（又は結露している）間は使用に適しません。粘着面が乾けば元に戻るため、そのまま使用できます。ただし、濡れたことによりトラップの形状が大きく変形してしまった場合には、トラップの交換を推奨します。一般的に、紙製のトラップを使用する場合、1. 水のかかりやすい場所、2. 結露が起りやすい場所での使用を避けてください。

Q.10 粘着面に埃（粉塵やゴミ）が付着したトラップをそのまま使用しても問題はありますか？

A.10 粘着面の色が変わるほどに埃が付着すると捕虫性能は低下するため、トラップを交換してください。埃がほとんど目立たない場合は、継続して使用しても問題はなりません。

Q.11 ルアーを覆う透明なフィルムを破いてしまいました。問題はありますか？

A.11 透明なフィルムを破いたルアーは使用できません。透明なフィルムはトラップの捕虫性能を安定的に維持するためのものです。透明なフィルムを破いてしまうと、フェロモンが短時間のうちに放出されてしまい、捕虫性能が低下してしまいます。

Q.12 商品の取り扱い上の注意点はありますか？

A.12 商品に記載されている一般的な取扱注意事項を厳守してください。

1. ルアーを直接手で触れないでください。
2. ルアーを誤って食べないようにご注意ください。
3. 子供の手の届かないところに保管してください。

Q.13 フェロモントラップはどのように廃棄すればよいのでしょうか？

A.13 廃棄方法は、地方自治体の基準に従ってください。参考までに各部品の材質を下記に示します。

【化粧箱】紙

【トラップ】紙にポリエチレンのコーティング。粘着面は合成樹脂を貼り付け。

【ルアーの包装】アルミニウム + ポリエチレン

【ルアー】ポリエチレン + 紙

有機 JAS 規格別表等適合資材に関するよくある質問

Q.1 「農林水産省の「有機 JAS 規格に基づく使用可能資材リスト」掲載資材とは何ですか？

A.1 平成 22 年～ 23 年度農林水産省「有機 JAS 規格制度等信頼向上委託事業」において、「有機農産物の JAS 規格別表等資材の適合性判断基準及び手順書」が改訂されました。これに従い、有機 JAS 規格に基づく使用可能資材であると評価された資材をリスト化したものです。平成 24 年度までは、このリストは、農林水産省のホームページに掲載されていましたが、現在は、一般財団法人有機 JAS 資材評価協議会に引き継がれました。

有機 JAS 資材評価協議会ホームページ「有機農産物の JAS 規格別表等への適合性評価済み資材リスト」

上記「資材リスト」により、認定事業者や登録認定機関は使用可能な資材について容易かつ正確な判断が可能となります。また、この「資材リスト」は有機 JAS 規格に基づく使用可能な資材の一部を登録するものであり、「資材リスト」に登録されていない資材についても従来通り個別に有機 JAS 規格への適合性が確認できる場合には使用が可能です。

Q.2 富士フレイバーのフェロモントラップ商品は、有機 JAS 規格に基づく使用可能資材に適合していますか？

A.2 上記一覧表に掲載されている当社商品は、収穫後の施設で使用される薬剤「別表 4」に適合する資材として「有機農産物の JAS 規格別表等への適合性評価済み資材リスト」に掲載されています。掲載されていない当社商品については、従来通り有機 JAS 登録認定機関によって個別に有機 JAS 規格の適合性を判断されます。資料提供をご要望される方は、当社までお問い合わせください。

（参照：「有機農産物の JAS 規格別表等資材の適合性判断基準及び手順書」）

フェロモントラップを使ったモニタリング

モニタリングとは、害虫発生状況を定期的に監視・記録すること(見える化)です。

見える化した情報は、施工者が状況説明する場合などに役立ち、更に害虫管理戦略にも活用することができます。

モニタリングを土台とした害虫管理のPDCAサイクルを常に回し続けることで、計画的な現場状況の改善が期待できます。

富士フレイバーのフェロモントラップは、モニタリング用に設計されています。

モニタリングを土台とした害虫管理のPDCAサイクル

PLAN : 害虫管理計画の立案

- 新規の場合→まずはじめに事前調査
 - ・聞き取り調査の実施
 - ・目視調査による侵入場所・誘引源・生息場所などの調査
 - ・フェロモントラップによる現状把握
 - ・現場内外の環境および構造の把握
- 事前調査後および ACT 後の場合
 - 害虫管理計画の作成
 - ・調査区域の分類
 - ・対象害虫の目標基準値の設定
 - ・モニタリングを含む調査計画の作成
 - ・問題発生時には防除方法の決定

ACT : 効果確認の結果に基づいた対策の実施

- より効果が高いと思われる発生防除対策、侵入防止対策、防除対策の検討
- 効果確認の結果を盛り込み再度 PDCA を回す



DO : 立案した計画の実施

- 定期調査の実施
 - ・聞き取り調査の実施
 - ・フェロモントラップや目視などによる点検
- 問題発生時の対応
 - ・聞き取り調査の実施
 - ・フェロモントラップや目視などによる発生源探索や清掃などによる発生防止対策の提案・実施
 - ・コーキング、LED 化、防虫網などによる侵入防止対策の提案・実施
 - ・殺虫剤や燻蒸剤を用いた防除対策の提案・実施

CHECK : 実行内容の効果確認

- フェロモントラップや目視などによる効果確認





モニタリングデータの活用法

①異常を早期に発見できる

〈モニタリングなし〉

大量発生!!

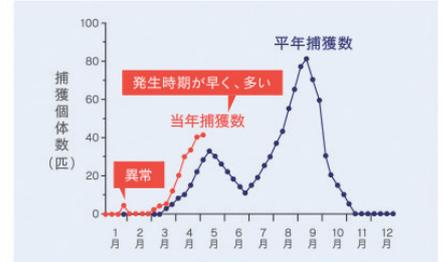


目視確認できるまで把握することが出来ず、気付いた時には手遅れ

〈モニタリングあり〉



- ・対策時期の選定に貢献
- ・異常発生を早期検出し、被害の拡大阻止に貢献



継続して記録を残すことで発生時期を数字で把握

②対象害虫の分布がわかる

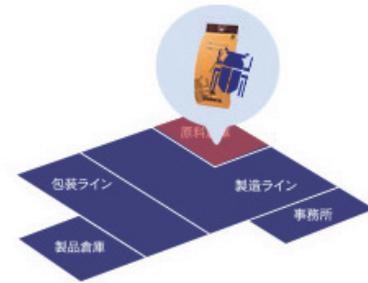
〈モニタリングなし〉

多大な労力!!

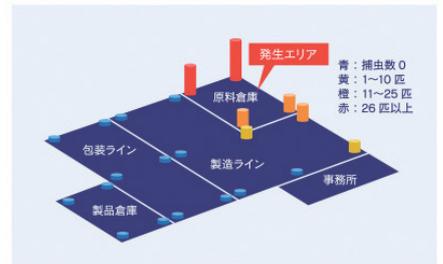


1匹の害虫が発生したことで、全フロアへの防除をしたり、全製造ラインを停止することになり、コストや労力がかかる

〈モニタリングあり〉



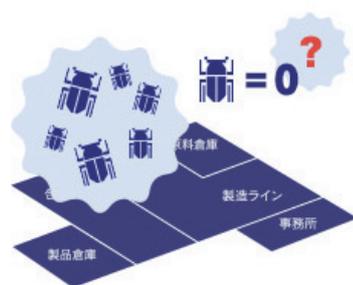
- ・薬剤使用量の低減に貢献
- ・作業量の省力化に貢献



場所ごとの発生量を数字で把握

③防除前後のデータの比較ができる

〈モニタリングなし〉



防除のやりっぱなしで、防除の効果が分からない

〈モニタリングあり〉



- ・防除の有効性の把握に貢献
- ・継続的な対策に貢献

捕獲数/トラップ			
場所	対策前	対策後	対策の効果
No. 1	19	0	100.0
No. 2	30	1	96.7
No. 3	77	3	96.1
No. 4	13	0	100.0
No. 5	20	10	50.0
全域	159	14	88.6

防除対策の効果を数字で把握

このように、モニタリングという手法を用いれば、害虫の動態や被害の状況などを科学的に予測し、実施した防除対策の効果を数字で評価することができます。

この集めたデータを上手に活用することで、効果的な防除が可能となります。



PHEROMONE

設置時のポイント TRAPS



3 定管理が重要

年間を通じて3定管理を行うことで、精度の高い害虫リスクの把握やデータ比較 (エリア毎、過去記録) を行うことができます。

定位

トラップの場所を定め、確認を一定の間隔で実施

定品

各エリアで使用するトラップを統一

定量

必要なトラップ数の設置



設置時にトラップの背面と壁の隙間を少なくすること

- 隙間が生じると捕虫力が低下します。
- 凹凸のある壁ではなく、なるべく平坦な壁に設置してください。
- A部が折られていないと隙間ができやすくなりますので折り込んでください。
- 配線フックに掛けて設置すると隙間を少なくできます。



※配線フック写真



設置時にトラップの両サイドに貯穀害虫の歩行スペースを確保すること

- 歩行スペースがないと捕虫力が低下します。



ニューセリコで粉塵対策

- 粉塵などによる粘着面の汚染は捕虫力の低下要因です。
- フラップを折って使用する事で粉塵対策ができます。
- ※フラップ活用が捕虫の妨げにならないことを確認しています。

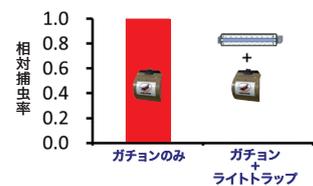
フラップ



【図 1】



【図 2】



ガチョンはライトトラップから離して設置

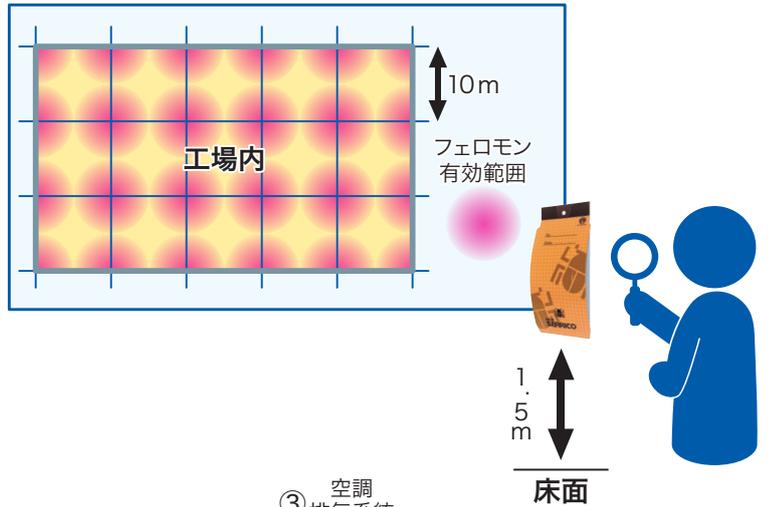
- 4m 以上離さないと捕虫力が低下する恐れがあります。【図 1】・【図 2】

PHEROMONE TRAPS

フェロモントラップの設置方法

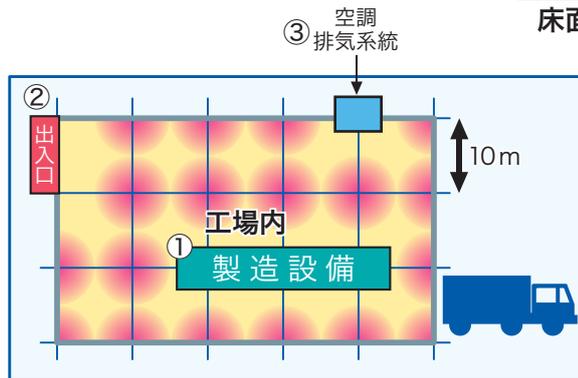
1

フェロモントラップの設置間隔は、10m になります。工場内の各エリアに対して 10m 間隔でグリッド線を引き、交点にトラップを設置します。これにより、エリア全体をカバーすることができます。設置高さは、確認しやすい目線高さ1.5mを推奨しています。
※床置きでも使用できます。



2

- ① 誘引された貯穀害虫の混入の可能性があるため、製造設備付近のトラップを除去します。
- ② 室外から貯穀害虫を室内にいれないため、出入口付近のトラップを除去します。
- ③ フェロモンの拡散を妨げる可能性があるため、空調排気系統 (換気扇など) 付近のトラップを除去します。



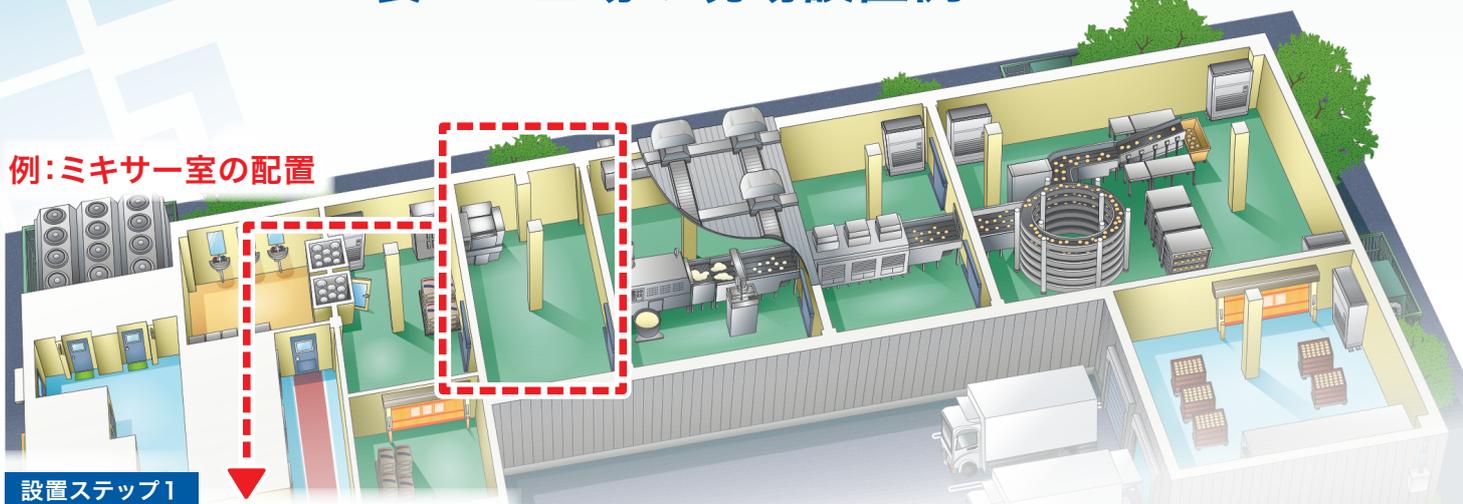
3

トラップの捕虫数の確認・記録は、1週間に1回を推奨しています。

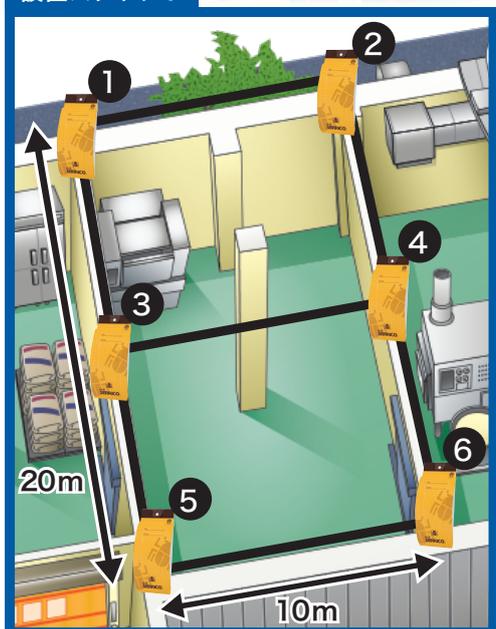


製パン工場の現場設置例

例:ミキサー室の配置



設置ステップ1



ミキサー室に
フェロモントラップを設置する場合

設置ポイント

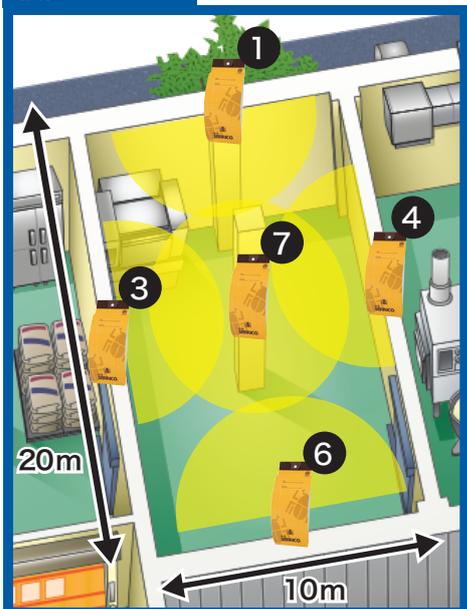
設置ステップ1 全体をカバーできるように配置

フェロモントラップの設置間隔10mでグリッド線を引き、交点にフェロモントラップを設置します。今回の必要個数は6個となります。

設置ステップ2 現場環境に応じて調整

トラップ	対応
①	製造設備(ミキサー)付近のため移動。出来るだけ遠ざける必要があり、柱部分まで移動。
②	トラップ①が近くにあるため除去。
③④	室外に繋がる部分(窓や扉など)や空調排気系統などに注意しながら設置。
⑤	扉付近のため除去。
⑥	扉付近のため移動。トラップ⑤除去により、有効範囲で網羅ができなくなるため、壁中央まで移動。
⑦	トラップ①から⑥までの距離が長く、網羅出来ない部分があるため増設。

設置ステップ2



補足 貯穀害虫の発生を考慮

害虫の発生しやすい場所では、出来るだけ早く発生状況を把握し、対応する必要があります。

貯穀害虫の発生しやすい場所とは…

- 過去に発生した事がある場所
- エサとなる穀粉が発生しやすく、また、製造設備・器具・現場の構造上、隙間や凹凸などがあり、エサが溜まりやすい場所
- その他、室温や湿度などが貯穀害虫に適した環境となっている場所

発生しやすい場所である製造設備(ミキサー)の状況をいち早く捉えたいため、トラップ①は除去することなく、製造設備から出来るだけ遠ざけて使用しています。

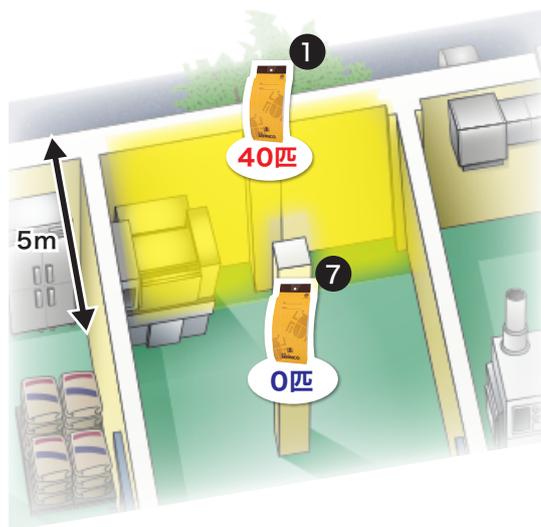
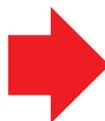
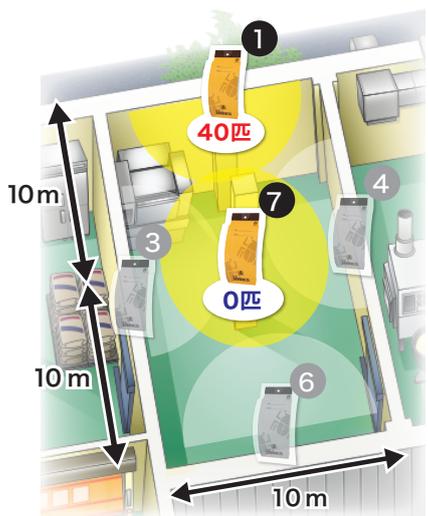
捕虫が確認された際の対応

～発生源の絞り込み～

探索ステップ 1

フェロモントラップを用いる事で害虫の発生源を推定できます。

製パン工場の現場設置例のトラップ①で多く捕虫された場合、このトラップより約5m以内に発生源があると考えられます。これはフェロモン濃度が高い方に害虫が誘引されて発生源に近いフェロモントラップほど多く捕虫される傾向があるためです。

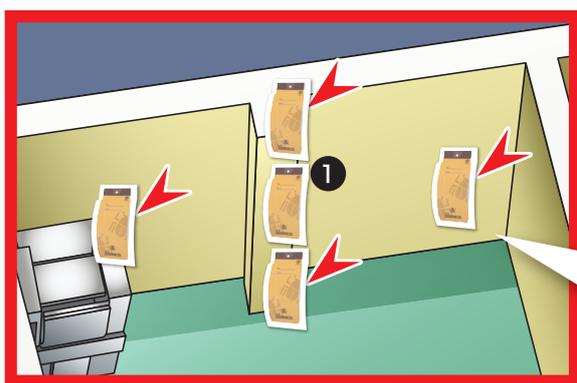


探索ステップ 2

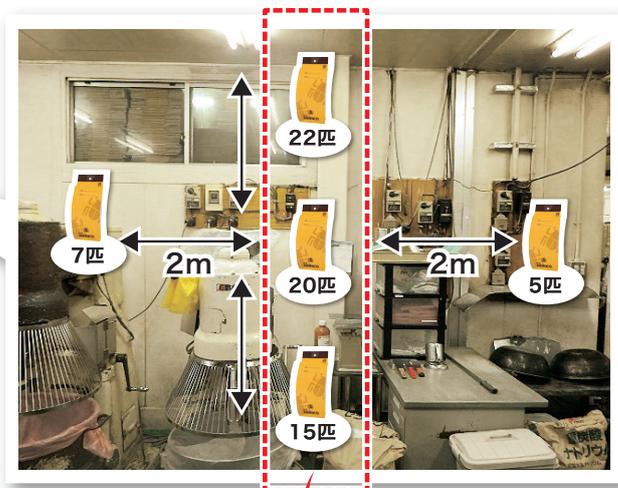
次に、多く捕虫されているフェロモントラップ(トラップ①)を中心として、

そこから約2m離れた上下・左右の位置にトラップを追加設置します。

これにより、各トラップの捕虫数の違いから、発生源を更に絞り込む事ができます。



⚡ : 追加したフェロモントラップ



捕虫が集中しているため、柱付近で発生している可能性があります。

発生源探索のポイント

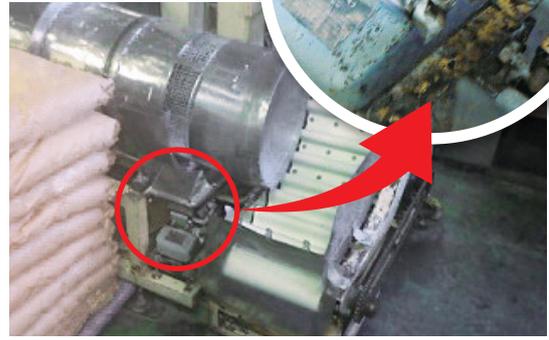
～まず確認すべき場所～

捕虫が見られたフェロモントラップ周辺を注意深く確認すると害虫の好む汚れや生息の痕跡(死骸、徘徊痕、幼虫など)が存在する可能性があります。多くの工場で問題となりやすい、すぐに確認しておきたい場所の例を紹介します。

機械裏



機械の隅(外面)



窓サッシ



機械の
モーター



作業台など(下部)



配電盤内部



配電盤上部



発生源探索のポイント

～より細かい視点～

確認すべき場所を探しても発生源が見つからない場合、
より細かい視点で確認する必要があります。

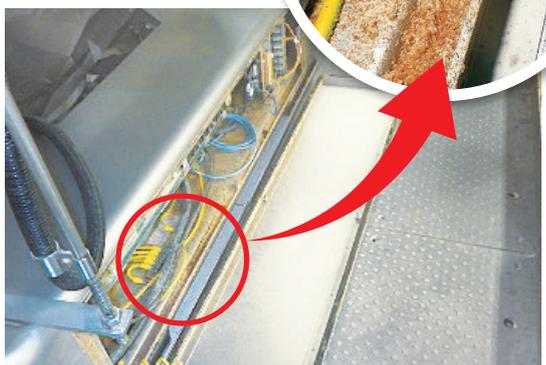
架台の階段手摺付近
等の微小な隙間



壁と柱の隙間



機械のカバー内



長期保管資材



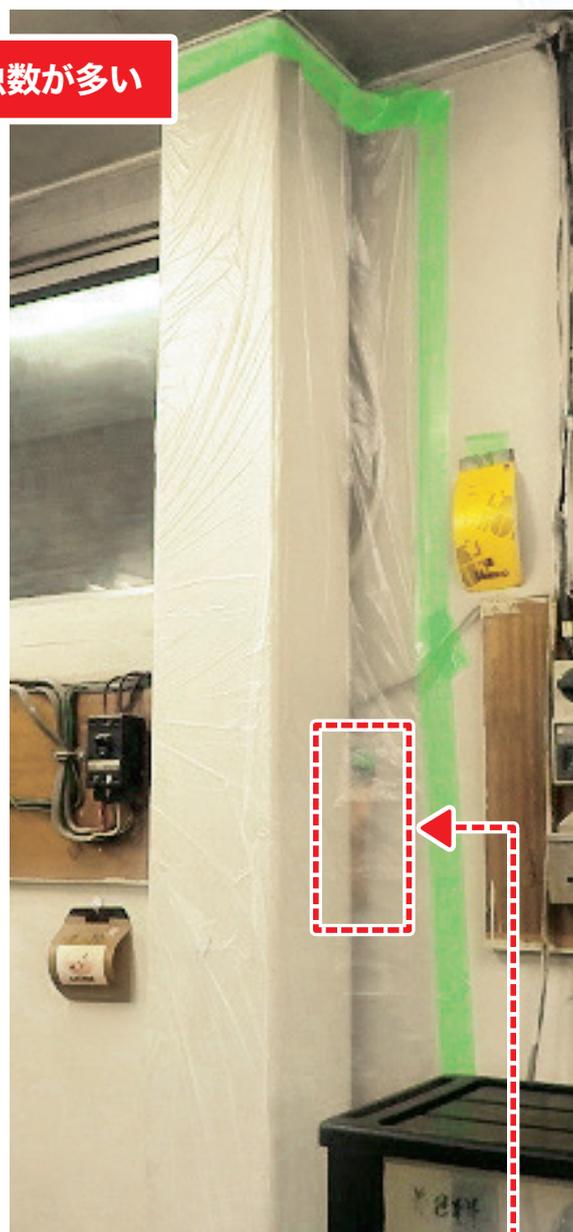
拡大図

まだ見つからない場合、捕虫の多いフェロモントラップに対して、
P.21にある「発生源の絞り込み」がお勧めです。

養生モニタリング

～探索後の最終チェック～

捕虫が見られたフェロモントラップ周辺を確認する事で、
疑わしい場所が発見されたとします。
本当にこの場所が発生源であるか最終チェックする方法を紹介します。



壁と柱の隙間



確認した結果、壁と柱の隙間に
害虫のエサとなる粉塵の堆積を発見。

柱と壁の隙間を塞ぐように養生。
養生内外にフェロモントラップを設置。

捕虫数を確認して養生内で捕虫が見られる場合、発生源が養生内にある可能性があります。フェロモントラップの効果範囲は養生の外側の方が面積的に広いので、内側の捕虫数が外側と同等の場合でも発生源となっている可能性があります。

短期設置による確認の例

日常清掃しにくい場所のモニタリング



ルーフファン



養生して
トラップ設置

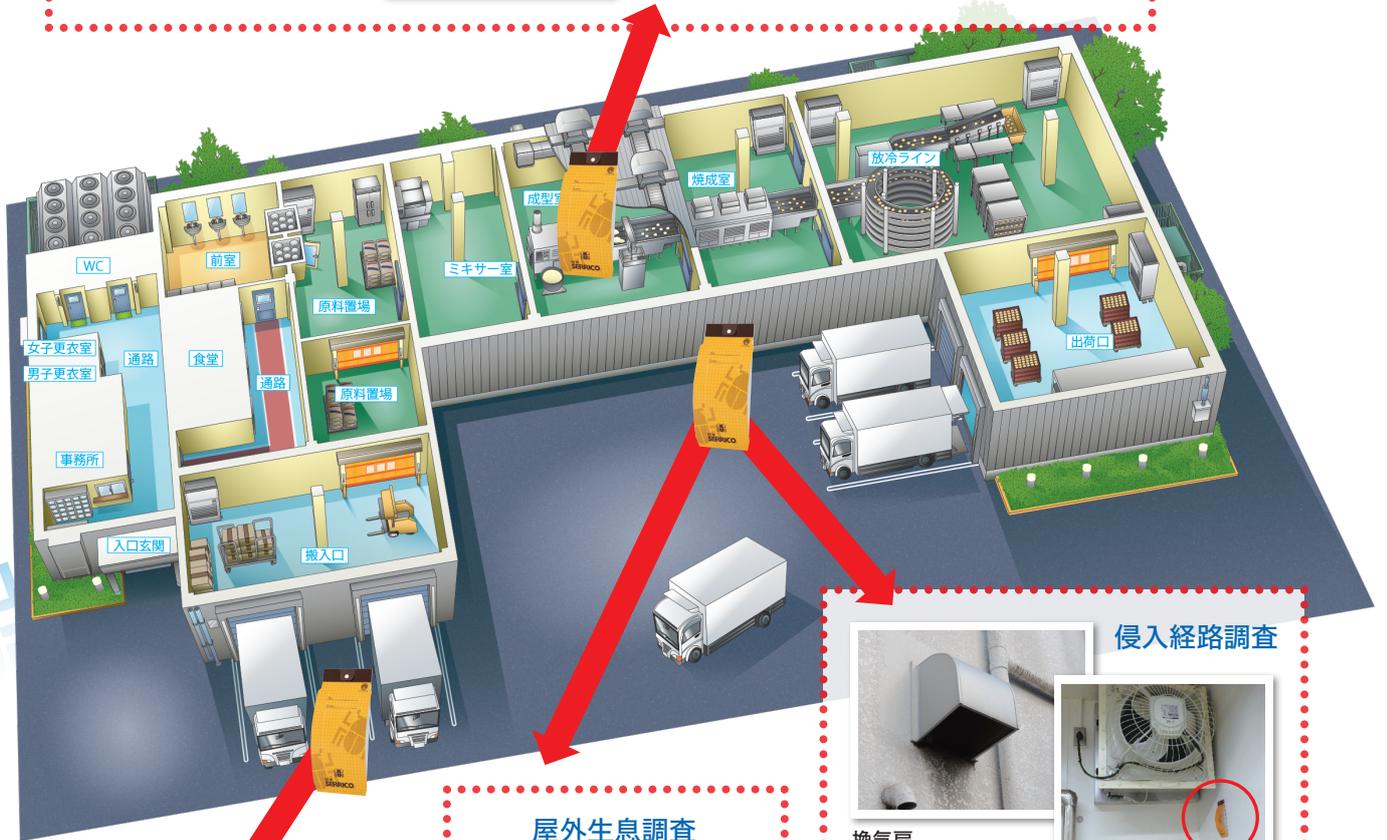


天井裏



配線ラック

日常清掃がしにくく発生源になりやすいため、フェロモントラップを設置する事で、発生を早期発見・対応に繋がられます。



貨物のモニタリング



トラックの荷台やコンテナ内などに対して、積載前の短時間、フェロモントラップを設置する事で、害虫発生の有無を確認できます。

屋外生息調査



貯穀害虫は屋外生息も確認されており、建物外壁に1~2日間設置する事で環境調査を行う事ができます。

侵入経路調査



換気扇



※換気扇を止めてフェロモントラップを設置



屋根の隙間



屋外生息が確認された場合、そこからの侵入リスクの検証にもフェロモントラップが効果を発揮します。侵入経路となりうる箇所として、換気扇や屋根の隙間などが考えられます。換気扇や屋根の隙間付近にトラップを追加設置する事で、リスク調査を行えます。

商品一覧

商品名		荷姿
ニューセリコ		タバコシバンムシ 200個/箱 100個/箱
		メイガ ガイマイツツリガ メス スジマダラ・スジコナマダラメイガ 100個/箱 100個/箱 100個/箱
セリコW+		タバコシバンムシ&メイガ 100個/箱
ハイレシス		ジンサンシバンムシ 100個/箱
		ヒメマルカツオブシムシ 100個/箱 10個/箱
		ヒメマルカツオブシムシ ルアー 100個/箱 10個/シート
トリオス	本体セット	コクヌストモドキ 50個/箱 10個/箱
		ヒラタコクヌストモドキ 50個/箱 10個/箱
		コナナガシンクイ 50個/箱 10個/箱
		旧ノコギリヒラタムシ 50個/箱 10個/箱
		新ノコギリヒラタムシ 50個/箱 10個/箱
		ヒメアカカツオブシムシ 50個/箱 10個/箱
		カクムネチビヒラタムシ 50個/箱 10個/箱
		コクゾウ 50個/箱 10個/箱
		マルチ 50個/箱 10個/箱
	コクヌストモドキ類 50個/箱 10個/箱	
	ルアーセット	コクヌストモドキ 50個/箱 10個/袋
		ヒラタコクヌストモドキ 50個/箱 10個/袋
		コナナガシンクイ 50個/箱 10個/袋
		旧ノコギリヒラタムシ 50個/箱 10個/袋
		新ノコギリヒラタムシ 50個/箱 10個/袋
ヒメアカカツオブシムシ 50個/箱 10個/袋		
カクムネチビヒラタムシ 50個/箱 10個/袋		
コクゾウ 50個/箱 10個/袋		
マルチ 50個/箱 10個/袋		
コクヌストモドキ類 50個/箱 10個/袋		
	スロープ台紙 50枚/箱	
フィールドキャッチ		ペントトラップ 6個/箱
		ボックストラップ 6個/箱
		粘着紙 48枚/箱
		ホソヘリカメムシ用ルアー 24個/袋
		イチモンジカメムシ用ルアー 24個/袋
		クモヘリカメムシ用ルアー 10個/シート
		フジコナカイガラムシ用ルアー 6個/袋
		クワコナカイガラムシ用ルアー 6個/袋
		ミナミアオカメムシ用ルアー 10個/袋
ニューウインズバック	本体セット	マメコガネ 1個/箱
		ヒメコガネ 1個/箱
		マメコガネ・ヒメコガネ 1個/箱
		ドウガネブイブイ 1個/箱
		ヒラタアオコガネ 1個/箱
		セマダラコガネ 1個/箱
		アオドウガネ 1個/箱
	ルアーセット	マメコガネ 1個/袋
		ヒメコガネ 1個/袋
		マメコガネ・ヒメコガネ 1個/袋
		ドウガネブイブイ 1個/袋
		ヒラタアオコガネ 1個/袋
セマダラコガネ 1個/袋		
アオドウガネ 1個/袋		
	本体のみ 1個/箱	

JTグループの知見を活かし、国内外にソリューションを。

たばこ香料の開発・製造を行う企業として富士フレーバーが設立されたのは、1971年のこと。これまでにJTグループの高品質なたばこづくりを支え、共に成長を遂げてきました。そして、高い合成技術とグループ内で培われた豊富な知識・経験によって生み出された「フェロモントラップ」。

これらの技術を軸に、国内／海外で害虫管理に悩むお客様の要望に応えながら、未来に向けた豊かな価値を創っていきます。

マネジメントシステム

品質と環境マネジメントシステムの国際規格を取得し、維持・継続しています。

- ISO9001:品質マネジメントシステム
認証証明書番号:01885-2001-AQ-KOB-UKAS/JAB
- ISO14001:環境マネジメントシステム
認証証明書番号:01317-2005-AK-KOB-UKAS/JAB



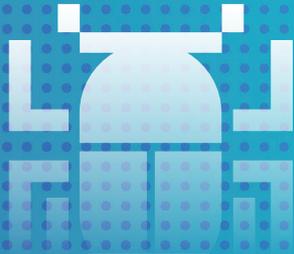
上記マネジメントシステムの認証範囲:
香料および昆虫誘引剤設計、開発および製造

社名 : 富士フレーバー株式会社
 英表記 : FUJI FLAVOR CO., LTD
 所在地 : 〒205-8503
 東京都羽村市緑ヶ丘三丁目5番地の8
 設立 : 1971年5月26日
 資本金 : 1億9600万円
 株主構成: 日本たばこ産業株式会社 100%



JAPAN
 TOKYO
 TOBACCO INC.
 Group





<https://www.fjf.co.jp/jp/ecomone/index.html>



弊社Webサイトはこちら



お問い合わせ先はこちら

 **富士フレーバー株式会社**

〒205-8503
東京都羽村市緑ヶ丘三丁目5番地の8
TEL:042-555-5186 FAX:042-555-7920